

デンマーク王国フューン県

オーデンセ市 ODENSE



面積306km² 人口約20.6万人



提携年月日

姉妹都市提携 平成元（1989）年4月6日

提携の経緯

昭和59(1984)年、オーデンセ市長が自治体コンピュータ高度利用視察団の一員として来船したことを契機に、船橋市の先進技術とオーデンセ市の童話の心が取り持つ縁で交流が始まりました。昭和61（1986）年には友好親善使節団、教育使節団を派遣し、昭和63(1988)年には、オーデンセ市千年祭記念式典に招待され友好親善使節団を派遣するとともに、オーデンセ市国際親善サッカー大会に市立船橋高校サッカー部が参加、翌平成元（1989）年にオーデンセ市代表団を迎えて姉妹都市提携の調印をしました。

都市の概要

オーデンセ市は、有名な童話作家アンデルセン生誕の地として世界中に知られています。デンマークは、たくさんの島々とヨーロッパ大陸から陸続きのユトランド半島で形成され、この中央の島、フーン島の中心がオーデンセ市です。首都コペンハーゲンから特急列車で約1時間半、飛行機で約30分の距離に位置します。

市の歴史は古く、神聖ローマ帝国皇帝オットー3世の西暦988年3月18日付の書簡にオーデンセの市名が記されていますが、それ以前から街があり、多くの人々がこの地で生活していました。オーデンセという市名は、北欧神話の最高神「オーディン」に由来しているといわれています。

古くは、教会が支配する都市として、中世には地の利を生かした商業都市として、18世紀以降は港や運河を利用した商業港湾都市として発展し、現在は酪農や花・野菜の温室栽培、造船業・鉄鋼業・家具製造業や食品産業などが盛んな近代都市として繁栄しています。また、国立南デンマーク大学を始め、各種の学校や文化施設、福祉施設の充実した都市でもあります。



H.C. アンデルセンが幼年期を過ごした家



イーエスコウ城



聖クヌード教会



オーデンセ市役所



H.C. アンデルセン像と聖クヌード教会

交流のあゆみ

1984 昭和59年

11月 ヴァーナー・ダルスコー市長がデンマーク代表団の一員として来船。

1986 昭和61年

4月 友好親善使節団（市長団長）が訪問。

7月 教育視察団（教育長団長）を派遣。

1988 昭和63年

3月 オーデンセ市千年祭記念式典に船橋市友好親善使節団を派遣。

7月 オーデンセ市国際親善サッカー大会に市立船橋高校サッカーチームが参加。

以降、サッカー交流がはじまる。



千年祭に派遣され、好評を博した小栗原小学校弦楽四重奏

1989 平成元年

4月6日 オーデンセ市長一行を迎え姉妹都市提携調印。

この提携で教育・文化・スポーツ・青少年・産業等の幅広い交流を約す。

10月 船橋市議会が船橋市・オーデンセ市友好親善代表団を派遣。

船橋市海外教育事情視察団を派遣。



調印式で未永い交流を誓いました

1990 平成2年

4月 友好親善使節団（市長団長）が訪問。

1991 平成3年

4月 オーデンセ大学学長が来船。

6月 船橋シティコーラス親善演奏使節団が訪問し、合同演奏会を開催。

8月 船橋市私立幼稚園北欧幼児教育視察団が訪問。

10月 船橋市海外教育事情視察団を派遣。

12月 船橋市医師会代表が医療と福祉制度を視察。



アンデルセン劇団「はだかの王様」

1992 平成4年

- 2月 オーデンセ市通商産業委員長一行が、デンマークフェア打合せのため来船。
- 4月 船橋市女性問題懇談会代表を派遣。
- 7月 姉妹都市提携3周年を記念して、オーデンセ市長一行166名が来船し、文化・産業等を紹介したデンマークフェアを開催。
- 10月 オーデンセ市社会福祉局担当副市長が来船。姉妹都市提携3周年を記念して、文化交流使節団及び姉妹都市親善使節団一行106名を派遣し、船橋ジャパンフェアを開催。



デンマークフェアでパレードするオーデンセ少女鼓笛隊

1993 平成5年

- 3月 船橋市民ギャラリーにて、オーデンセ市の芸術家マーローの美術展を開催。
- 5月 船橋設計協力会代表が公共福祉施設視察のため訪問。
- 7月 フレンドシップ&フェアリーテールキャンプに市内青少年が参加。
- 9月 フューン県知事一行が来船。国際ソロプチミスト船橋一行がオーデンセ市を訪問。
- 10月 アンデルセン公園建設のため、職員を派遣。
オーデンセ市福祉部長一行が来船し、事業協力について協議。
第2回船橋市海外女性セミナー研修団を派遣。
船橋市職員政策課題海外視察研修団を派遣。
オーデンセ大学大学院生研修団が来船。

1994 平成6年

- 1月 総合体育館の落成式のため、デンマーク体操チームが来船。
- 3月 千葉県社会体育公認指導員船橋市連絡協議会のスポーツ交流視察団が訪問。
- 5月 ケア・リハビリセンター建設のため福祉視察団を派遣。
- 6月 アンデルセン公園建設のため職員を派遣。
- 8月 姉妹都市提携5周年を記念して船橋ジュニアオーケストラを派遣。
- 10月 千葉県高齢者福祉施設協議会代表団が訪問。
アンカー・ボーイエ市長一行が来船し、アンデルセン公園起工式等に出席。オーデンセ市から講師を招致して福祉フォーラム「フューチャー・ワークショップ」を開催。



船橋アリーナ落成式で演技するデンマーク体操チーム

1995 平成7年

- 1月 アンデルセン公園建設の設計協議のため、関係者が来船。
- 8月 船橋市私立幼稚園職員海外事情視察団が訪問。
- 10月 船橋市海外文化・スポーツ事情視察団及び船橋市海外教育事情視察団を派遣。
北総育成園がオーデンセ市において演劇公演を行った。

1996 平成8年

- 1月 アンデルセン公園建設に伴い、オーデンセ市職員等が来船。
- 2月 オーデンセ市フーンビレッジ風車・農家工事検査団が来船。
- 5月 船橋在住の11弦ギター奏者が演奏会を開催。玄気道グループが訪問し、武道クラブ及び愛好家と交流。
アンデルセン公園関係者研修団を派遣。
- 7月 船橋市議会が高齢者福祉システム等を視察するため行政視察団を派遣。
- 10月 アンカー・ボイエ市長一行がアンデルセン公園開園式に出席。



デンマークの風景を再現したアンデルセン公園がオープン

1997 平成9年

- 7月 船橋の人形劇団がオーデンセ市で公演。

1998 平成10年

- 4月 オーデンセ市職員一行がケア・リハビリセンター落成式に出席。
- 9月 オーデンセ市観光協会局長がオーデンセ市関連施設を視察。
- 10月 船橋市議会が高齢者福祉システム等を視察するため行政視察団を派遣。
- 11月 アンカー・ボイエ市長一行が来船し、市内視察と10周年記念事業に関する協議を行った。

1999 平成11年

- 8月 姉妹都市提携10周年を記念して、行政視察団（市長団長）・文化親善使節団・さざんか少年少女合唱団総勢141名を派遣し、両市民が文化を通じて交流を図った。
- 10月 デンマークの社会大臣が、オーデンセ市の協力を得て建設されたケア・リハビリセンターを視察。



素晴らしいハーモニーを披露したさざんか少年少女合唱団の皆さん



文化親善使節団の皆さんによる、書道、華道のほか太巻きすしつくりの体験もありました

2000 平成12年

- 3月 「H.C.アンデルセン展」を船橋市で開催。
- 4月 船橋市が「第1回オーデンセ市国際アンデルセン賞」を受賞。
- 8月 市内の和太鼓サークル「たかね乱れ囃子」がコペンハーゲン市・オーデンセ市で公演を行った。

2001 平成13年

- 2月 アンカー・ボーエ市長が来船し、アンデルセン銅像除幕式、「千人の音楽祭」などに出席した。
- 8月 ふなばし女性会議が女性政策・教育・福祉の視察、交流を目的としたスタディーツアーを行った。



アンデルセン公園童話館前に設置された記念銅像

2002 平成14年

- 11月 H.C.アンデルセン2005事務局がアンデルセン公園視察のため来船。

2003 平成15年

- 5月 オーデンセ市の招聘を受け、福祉視察のため健康福祉局長を派遣。
- 7月 オーデンセ市の子ども文化施設「ティンダーボックス」関係者が事業提案のため、アンデルセン公園を視察。

2004 平成16年

- 8月 「ティンダーボックス」関係者が事業提携再提案のため来船。
- 8月～9月 市立看護専門学校代表団が17年度より予定している生徒研修打合せおよび下見のため訪問。
- 12月 アンデルセン生誕200年を記念してアンデルセン公園子ども美術館に導入する「ティンダーボックス」協議のため職員を派遣。

2005 平成17年

- 1月～2月 姉妹都市提携15周年事業として、オーデンセ市代表団、市民音楽団が来船。「千人の音楽祭」への参加、ホームステイ、学校訪問等を行った。
- 3月～4月 「ティンダーボックス」の舞台制作のため作業団が来船。
- 4月 「ティンダーボックス」を「アンデルセンスタジオ」としてアンデルセン公園子ども美術館にオープン。デンマーク王国メアリー皇太子妃殿下、副首相等ご臨席のもとオープン記念式典を開催。
- 8月 アンデルセン生誕200周年の記念式典に参加のため市代表団（市長団長）及び文化団体（船橋吹奏楽団）が訪問。
アンデルセン生誕200周年を記念し、船橋市国際交流協会が市民団を派遣。
- 8月～9月 市立看護専門学校の学生がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。
- 10月 オーデンセ技術学校国際部が職業訓練教育施設の視察のため来船。



千人の音楽祭に参加したオーデンセ公立音楽学校



アンデルセンスタジオでフェイスペインティング



おやゆび姫とつばめに扮した子どもに案内されてアンデルセン公園をまわられたメアリー皇太子妃殿下



2006 平成18年

- 2月 デンマーク在住の「かぜのがっこう」代表者が意見交換のため来船。
オーデンセ在住のピアニストを招き、ピアノコンサートを開催。
- 7月 オーデンセ市のフォークダンスグループが来船。
- 8月 市立看護専門学校の学生がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。



アンデルセンの生涯を表現したダンスを披露してくれました

2007 平成19年

- 5月 市制70周年記念事業に関する協議のため副市長を派遣。
市立船橋高校サッカー部を派遣し、交流試合を行った。
- 8月～9月 市立看護専門学校の学生がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。
- 9月 アンデルセン公園ガイドボランティア及び子ども美術館スタッフが視察及び市民交流会のため訪問。
- 10月 市制70周年を記念して、オーデンセ市・ヘイワード市・西安市三市の市代表団及び文化団が来船。記念式典等への参加、学校訪問、ホームステイ等を行った。

2008 平成20年

- 4月 福祉関係者が来船し、ケア・リハビリセンター等を視察。
- 9月 市立看護専門学校の学生がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。
- 10月 オーデンセ市民文化団が、ふなばしアンデルセン公園の緑化フェア1周年祭に合わせ来船。
姉妹都市提携20周年記念事業に関する協議のため副市長を派遣。



平成17年から毎年カリキュラムの一環で在宅看護研修を実施

2009 平成21年

- 6月～7月 姉妹都市提携20周年を記念して、ヤン・ボーイエ市長をはじめとする代表団が来船。市議会で記念スピーチを行った。



市議会議場でスピーチするヤン・ボーイエ市長



アンデルセン公園で行われた市民文化団によるダンスショー

8月 姉妹都市提携20周年を記念して、市代表团（市長団長）、青少年音楽グループ（ふなばしスイングオーケストラ）が訪問。

姉妹都市提携20周年記念事業として、市立船橋高校サッカー部を派遣し、交流試合を行った。

9月 市立看護専門学校の学生がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。

姉妹都市提携20周年記念事業として、少年サッカーチーム（船橋トレーニングセンター）を派遣し、現地サッカークラブB1909と交流試合を行った。

10月 姉妹都市提携20周年記念事業として、オーデンセ市ティンダーボックス職員がアンデルセン公園にてワークショップを開催。



ふなばしスイングオーケストラが野外コンサート会場にて演奏を披露



現地サッカークラブB1909との交流試合

2010 平成22年

9月 市立看護専門学校の学生がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。

11月 アンデルセン公園きりがみコンクールの大賞受賞者、アンデルセン公園職員等が訪問。

2011 平成23年

3月～4月 デンマーク大使館主催事業（小学校5年生対象の作文コンクール）として優勝者、保護者、担任教諭が現地の学校生活を体験するため訪問。

4月 ふなばしアンデルセン公園が、アンデルセン作品普及の功績を認められ、公園施設としては世界で初めて「H.Cアンデルセン賞」を受賞。

9月 市立看護専門学校の学生がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。

11月 オーデンセ市博物館職員等が来船。アンデルセン公園や小学校で、アンデルセンとその作品についてのインタビュー等を行った。

12月 切り紙作家でもあるオーデンセ市環境部職員とティンダーボックス職員がアンデルセン公園にてワークショップを開催。また、「環境にやさしい暮らし」についての講座を開催。



アンデルセン公園が公園施設として初めて「H.Cアンデルセン賞」を受賞



切り紙作家でもあるオーデンセ市職員によるワークショップ

2012 平成24年

- 3月～4月 H.Cアンデルセン賞のプレゼンターとして表彰式等に出席するため、アンデルセン公園園長・職員が訪問。
- 9月 市立看護専門学校の学生がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。
- 10月 オーデンセ市観光局所長、デンマーク観光局部長、スカンジナビア政府観光局日本局長が来船。アンデルセン公園の視察を行った。
- 11月 アンデルセン公園きりがみコンクールでのオーデンセ市賞・ティンダーボックス賞のプレゼンターとして、オーデンセ市博物館及び美術館連合職員等が来船。アンデルセン公園の視察も行った。

2013 平成25年

- 3月～4月 歴代のH.Cアンデルセン賞受賞者が招待される式典に出席するため、アンデルセン公園園長・職員が訪問。
- 4月 アンデルセン公園きりがみコンクールの大賞受賞者、アンデルセン公園職員等が訪問。
- 4月～6月 美術館での研修のため、研修生が来船。2か月に渡る研修を行った。
- 6月 両市の間で医療や福祉の分野で交流を深めるため、船橋市医療福祉視察代表団（病院局長団長）を派遣。
- 9月 市立看護専門学校の学生がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。
- 10月 姉妹都市提携25周年記念事業に関する協議のため副市長を派遣。

2014 平成26年

- 3月 本市で開催されたデンマーク企業による企業セミナーに出席するため、デンマーク王国ヘレ・トーニング＝シュミット首相が来船した。
- 3月～4月 歴代のH.Cアンデルセン賞受賞者が招待される式典に出席するため、アンデルセン公園園長・職員が訪問。
- 4月 姉妹都市提携25周年を記念して、オーデンセ市のブライアン・ディプロ副市長をはじめとする市代表団や文化団が来船。アンデルセン公園にて、常陸宮同妃両殿下や駐日デンマーク大使館のカーステン・ダムスゴー大使の御臨席のもと、これまでに両市の交流に尽力された方々も交え、記念式典が行われた。また、それに合わせ、アンデルセン公園きりがみコンクールでのオーデンセ市賞・ティンダーボックス賞のプレゼンターとして、オーデンセ市博物館及び美術館連合職員等が来船。
- 6月 姉妹都市提携25周年記念事業として、オーデンセ市産業環境室職員が来船し、環境への取り組みに関する講演会を開催した。



握手を交わす松戸徹市長とヘレ・トーニング＝シュミット首相



25周年記念式典には常陸宮同妃両殿下がご臨席



デンマーク音楽学校・船橋吹奏楽団・大穴中学校の合同演奏

- 8月 姉妹都市提携25周年を記念して、市代表团（市長団長）及び市民団が訪問。
アンデルセン公園きりがみコンクールの大賞受賞者、アンデルセン公園職員等が訪問。姉妹都市提携25周年記念式典にも参加した。



25周年を記念してオーデンセ市を訪問した市代表团および市民団



握手を交わす松戸徹市長とアンカー・ポイエ市長

- 9月 市立看護専門学校がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。
11月 姉妹都市提携25周年記念事業として、オーデンセ市福祉関係職員等が来船。オーデンセ市の福祉に対する取り組みの講演会等を行った。



オーデンセ市から福祉関係職員を招き、『デンマークと日本における在宅医療に関する取組み』のトークセッションを行った

2015 平成27年

- 3月 アンデルセン公園きりがみコンクール表彰式に出席するため、オーデンセ市博物館連合職員及びアンデルセン賞委員会委員が来船。
8月 アンデルセン公園きりがみコンクールの大賞受賞者、公園協会職員等が訪問。
都市開発を学び職員のスキルアップを図るため、海外派遣研修として職員を派遣。
日本・デンマーク外交関係樹立150周年に係る事業について協議等をするため、職員を派遣。
8月～9月 市立看護専門学校がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。



都市開発を学ぶため建設局の職員を派遣



自転車専用道路が発達しているオーデンセ市



まちづくりを話し合う市民会議の様子

2016 平成28年

- 2月 主権者教育の研究及び導入に向け実情の視察等を行うため、職員を派遣。
3月 アンデルセン公園きりがみコンクール表彰式に出席するため、オーデンセ市博物館連合職員及びアンデルセン賞委員会委員が来船。
5月 地域包括ケアシステムの構築に向け医療・福祉分野の視察を行うため職員を派遣。
6月 「アンデルセンスタジオ」に関する協議及び視察のため、職員等を派遣。
8月 主権者教育を推進するためオーデンセ市の教師等を招き、研修会等を開催した。

- 8月 アンデルセン公園きりがみコンクールの大賞受賞者、公園協会職員等が訪問。
都市開発を学び職員のスキルアップを図るため、海外派遣研修として職員を派遣。
- 9月 市立看護専門学校がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。

2017 平成29年

- 1月 日本・デンマーク外交関係樹立150周年開幕式典にて郷土芸能を披露するため、文化団体を派遣。



日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念開幕式典において1000人を超える観客の前で船橋市の伝統芸能であるばか面踊りを披露（コペンハーゲン国立美術館）

- 4月 アンデルセン公園きりがみコンクール表彰式に出席するため、オーデンセ市博物館連合職員及びアンデルセン賞委員会委員が来船。
- 5月 地域包括ケアシステムの構築に向け医療・福祉分野の視察を行うため職員を派遣。
- 8月 アンデルセン公園きりがみコンクールの大賞受賞者、公園協会職員等が訪問。
主権者教育を推進するため小中学校教員を派遣。
- 9月～10月 日本・デンマーク外交関係樹立150周年を記念して、アンデルセン公園・子ども美術館にて切り紙作家としても活躍するオーデンセ市職員等を招いて企画展を開催した。
- 9月 市立看護専門学校がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。
都市開発を学び職員のスキルアップを図るため、海外派遣研修として職員を派遣。
- 10月 日本・デンマーク外交関係樹立150周年を記念してデンマーク王国メアリー皇太子妃殿下のアンデルセン公園ご訪問に際し、記念植樹等が行われた。



(左) 子どもたちの盛大な歓迎に笑顔で応えられるメアリー皇太子妃殿下
(右上) デンマーク製遊具を整備した新エリアの落成式でテープカット
(右下) セイヨウニワトコ（エルダーフラワー）の記念植樹

2018 平成30年

- 2月 アンデルセンスタジオ「しっかり者のすずの兵隊」新設のため職人及び関係者が来船。
- 3月 アンデルセンスタジオ「しっかり者のすずの兵隊」のオープン記念式典を開催。
- 5月 姉妹都市提携30周年記念事業に関する協議及び地域包括ケアシステムの推進に向けた福祉・住宅分野の視察を行うため職員を派遣。
- 8月 アンデルセン公園きりがみコンクールの大賞受賞者、公園協会職員等が訪問。
主権者教育を推進するため小学校・高等学校教員を派遣。
- 8月～9月 市立看護専門学校の学生がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。
- 9月 都市開発を学び職員のスキルアップを図るため、海外派遣研修として職員を派遣。
- 11月 船橋市が推進する地域包括ケアシステムの参考とするため、オーデンセ市から福祉の専門職が来船。講演会、ワークショップ等を行った。



市制80周年を記念してアンデルセンスタジオに『しっかり者のすずの兵隊』がオープン



童話の世界に飛び込んだ子どもたち

2019 平成31年・令和元年

- 3月 アンデルセン公園きりがみコンクール表彰式に出席するため、オーデンセ市博物館連合職員及びアンデルセン賞委員会委員が来船。
- 8月 アンデルセン公園きりがみコンクールの大賞受賞者、公園協会職員等が訪問。
- 8月～9月 市立看護専門学校の学生がカリキュラムの一環として在宅看護研修のため訪問。

2020 令和2年

- 3月 姉妹都市提携30周年を記念して、アンデルセン公園が園内に人魚姫像を作成・設置した。

2021 令和3年

- 6月 オーデンセ市のH.C.アンデルセン博物館がリニューアルオープンし、松戸徹市長がピーター・ラーベク・ユエル市長へお祝いの書簡を送った。



30周年を記念してふなばしアンデルセン公園に人魚姫像を設置



デンマークの彫刻家アンネ・マリー・カールニールセンの作品のレプリカ版として世界で唯一の人魚姫像

(左) 新しいH.C.アンデルセン博物館は日本人建築家隈研吾氏により設計・デザインされた